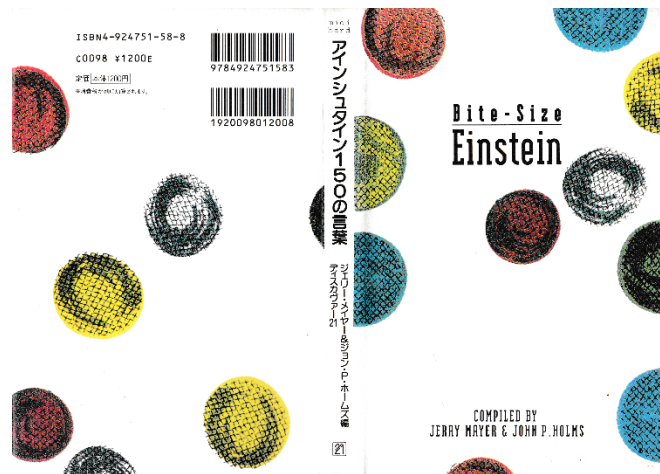


2019. 4. 14
アルケミストの小部屋

書籍 「アインシュタイン150の言葉」を読んで

アインシュタインは数々の名言を残している。その中より、150を取り上げたのが本書である。アインシュタインの残した言葉が列挙されており、それぞれの言葉についての解説や注釈はない。

150の言葉より、これが特に重要と思うものを抜き出し、次ページに整理した。



目次

わたし、そして、わたしのまわりの人について	5
人生について	17
哲学、そして、人間性について	35
自然科学とその研究について	51
倫理、道徳、宗教について	71
学習、教育について	83
政治、戦争、平和について	93
ふたたび、わたし自身について	103
アインシュタインの生涯	116
編集後記	118

アインシュタイン150の言葉

発行日
1997年4月25日 第1刷
1999年2月10日 第5刷

編者
ジェリー・メイヤー／ジョン・P・ホームズ
訳者
ディスカヴァー21編集部 (協力 平野圭子)

編集人
藤田浩芳
発行人
干場弓子
発行所
株式会社 ディスカヴァー・トゥエンティワン
〒102-0082 東京都千代田区一番町13-3
電話 03-3237-8321 (代) FAX 03-3237-8323

印刷
株式会社 厚徳社

定価は、カバーに表示してあります。
本書の無断複写（コピー）は、著作権法上での例外を除き、禁じられています。
落丁・乱丁本は、お送りください。送料小社負担にて、お取り替えます。

© DISCOVER 21 Inc., 1997. Printed in Japan
ISBN4-924751-58-8 C 0098

並べてみるとその言わんとするところが明確になってきます。

左側の天才ですが、

p.90 知恵とは単なる知識ではなく、一生をかけて得続けていくものです。p.84 その体得には体験が重要です。P.85 それも、ただ単に体験するというのではなく、p.56 常に疑問を持ち続けながら、その裏に隠された真実を探し求めるのに、p.87 想像力という人間の本来持つ能力をフルに発揮させ続けていくことが重要です。

結論としては、p.6 私は天才ではありません。一つのことに執着し、それと長く付き合ってきたのであって、p.65 天才ではなく変質狂なのです。

右側の凡人ですが、

p.26 普通の人には18歳までに得た知識をすべてと信じ、それを物事を見るときの評価基準とします。行動に裏打ちされていない知識はどこまでも知識であり、知恵にまで昇華されてはいません。また、世の中は常に変化し新しい事象が出現しているのに、それを知識としてすら加えることをしません。

p.44 新しいアイデアが世に現れた時、凡庸な人々は持てる偏見に満ちた知識を駆使してその新しいアイデアに強い抵抗を示します。そのアイデアが今までの常識とかけ離れていればいるほど、そうなります。

p.49 その抵抗の源は自分の意見が正しいと信じ、新しいアイデアを受け入れられるだけの素養が欠落しているためです。凡庸な人々が持つその意見が正しいければ問題はないのですが、もし間違っていたならば、集団で新たなアイデアを潰すことになるのです。

